

発行日	2016年11月1日
改訂日	2017年8月1日

点検マニュアル

ベストポジション

BEST POSITION BAR

BPE-100-10,11,80,81

目次

丸型ベース	1
T型ベース	2
バネ受け	3
ロックセット	4
下部ベース	5
下部ベース (本体品番 BPE-100)	6
耐水使用	7

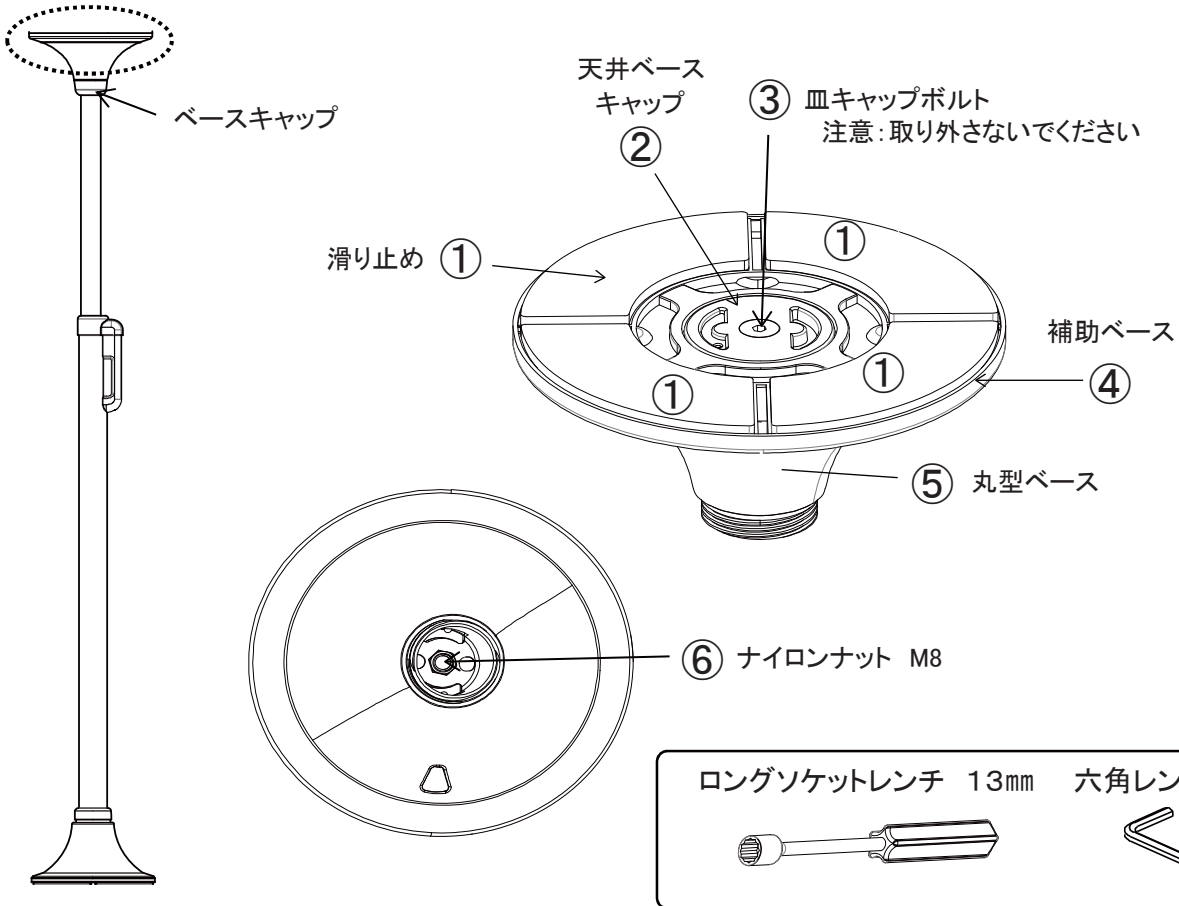


警告

- ボルト・ビス類は閉めすぎると折れたりネジ山をつぶします。
- トルク設定がある場合は必ず設定値で締め付けてください。
- 上部ベースや下部補助ベースの取り付けは必ずねじ山を合わせて手で絞めてください。斜めに締めますと破損します。
- ロック解除ボルトを回しすぎると破損します。

天井丸型ベース点検マニュアル

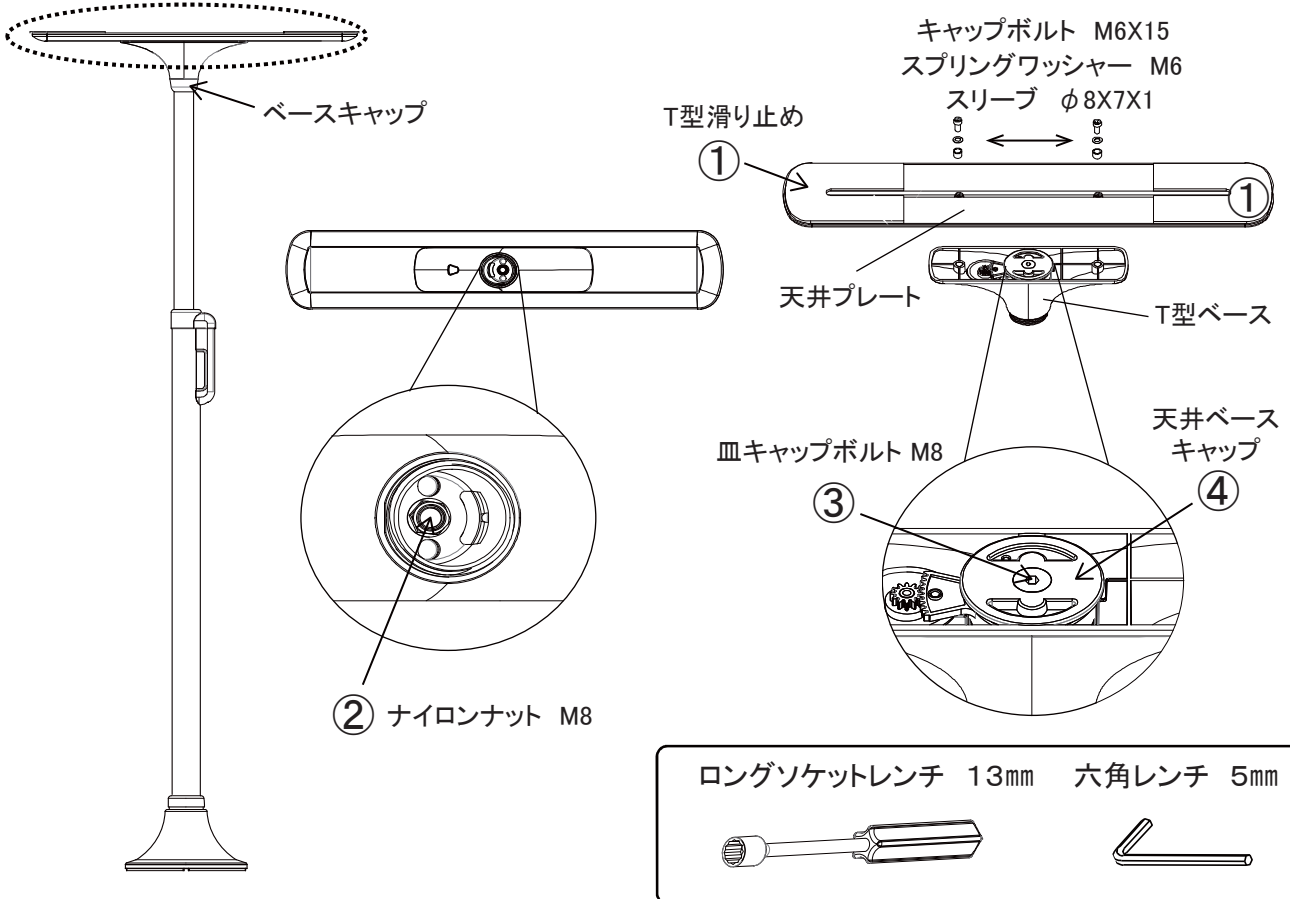
発行日 2016年11月1日
改訂日 2017年8月1日



点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
①滑り止め	目視	貼り位置の確認 劣化確認 汚れ付着物の除去	大きくズれていないこと 傷、へたりのないこと ※消耗品は早めに交換
③皿キャップボルト	作業実施	締まりの確認 六角レンチ 5mm	空回りしないこと
		空回りする場合の対策(締めすぎ注意) 丸ベースの⑥ナイロナットをリングソケットレンチ 13 mm等で固定し、③皿キャップボルトを締付固定する。	
④補助ベース	触診	回らないことを確認	グラつくが回転しないこと 回転する⇒修理依頼
外観	目視	全体を目視する	変形していないこと 傷・割れ、汚れ等ないこと

天井 T 型ベース点検マニュアル

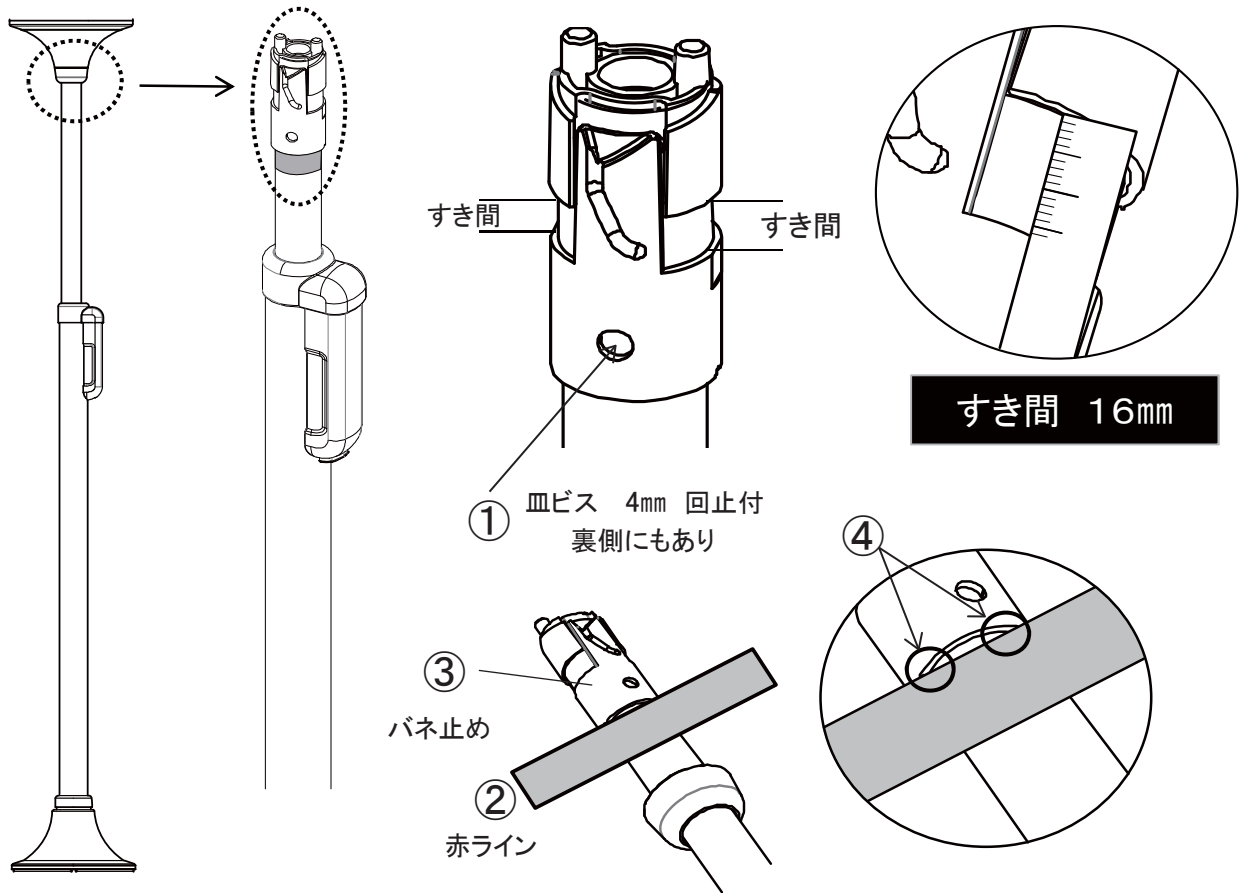
発行日 2016年11月1日
改訂日 2017年8月1日



点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
①滑り止め	目視	貼位置の確認 劣化確認 汚れ、付着物の除去	大きくズれていないこと 傷、へたりのないこと ※消耗品は早めに交換
②ナイロンナット M8	作業実施	ナイロンナットの締め確認 ロングソケットレンチ 13mm	空回りしないこと
		空回りする場合の対策 天井プレートのキャップボルトを六角レンチ 5mmで緩め取り外し、②ナイロンナットをロングソケットレンチ 13mm等で固定し、③皿キャップボルトを六角レンチ 5mmで締め付け固定する。 T型ベースに天井プレートを固定し完了。 ※締めすぎ注意	
外観	目視	全体を目視する	変形していないこと 傷・割れ、汚れ等ないこと

バネ止め点検マニュアル

発行日	2016年11月1日
改訂日	2017年8月1日

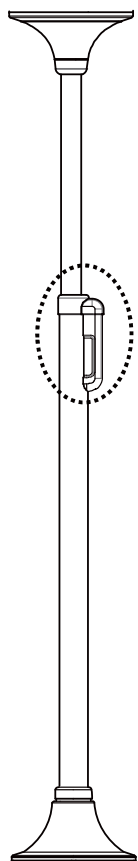


点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
すき間	計測	すき間計測	16mm
		16mmでない場合の対策 ※修理依頼 不具合が発生している可能性があります。 ①の皿ビスには回止処理が施されているので普通の+ドライバーでは緩まない場合があります。	
外観	目視	全体を目視する 汚れ、埃、塵	変形していないこと 割れ等ないこと 汚れ、埃、塵等がないこと
赤ライン	目視	全体を目視する	破れ等ないこと
		赤ラインに破れ等がある場合の対策 貼り換え。②赤ラインを③バネ止めの下端④に接するように平行にし、パイプに巻き付けてください。 赤ライン 10枚 定価 2,000円(税抜) 品番 BPE-400-60	

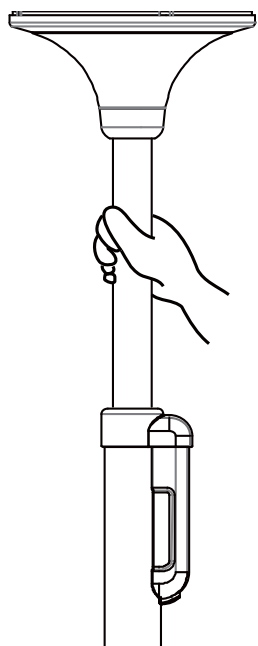
ロックセット点検マニュアル

発行日 2016年11月1日

改訂日 2017年8月1日

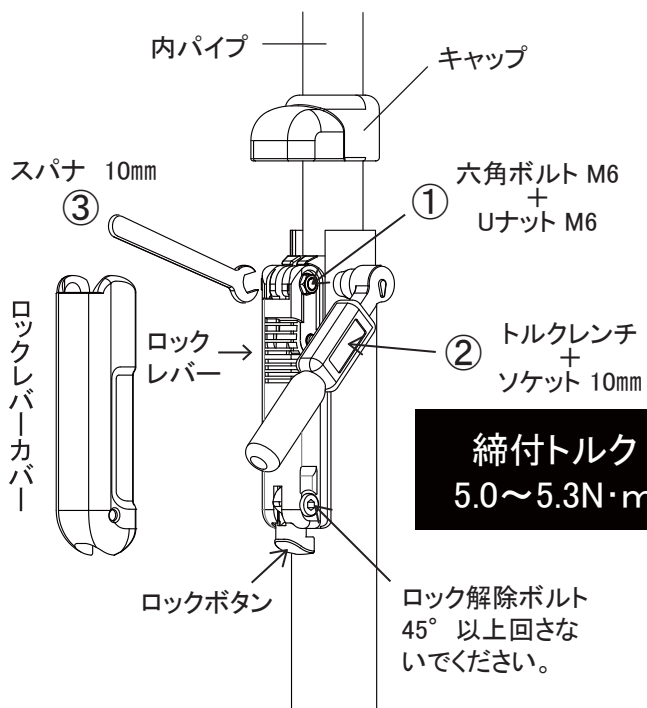


滑り確認方法



ロックレバーを閉じ、内パイプにぶら下がるようにして力を入れ、滑らないことを確認してください。

ロック締付強度調整



**締付トルク
5.0~5.3N・m**

トルクレンチ・10mmソケット 六角レンチ 5mm

スパナ 10mm

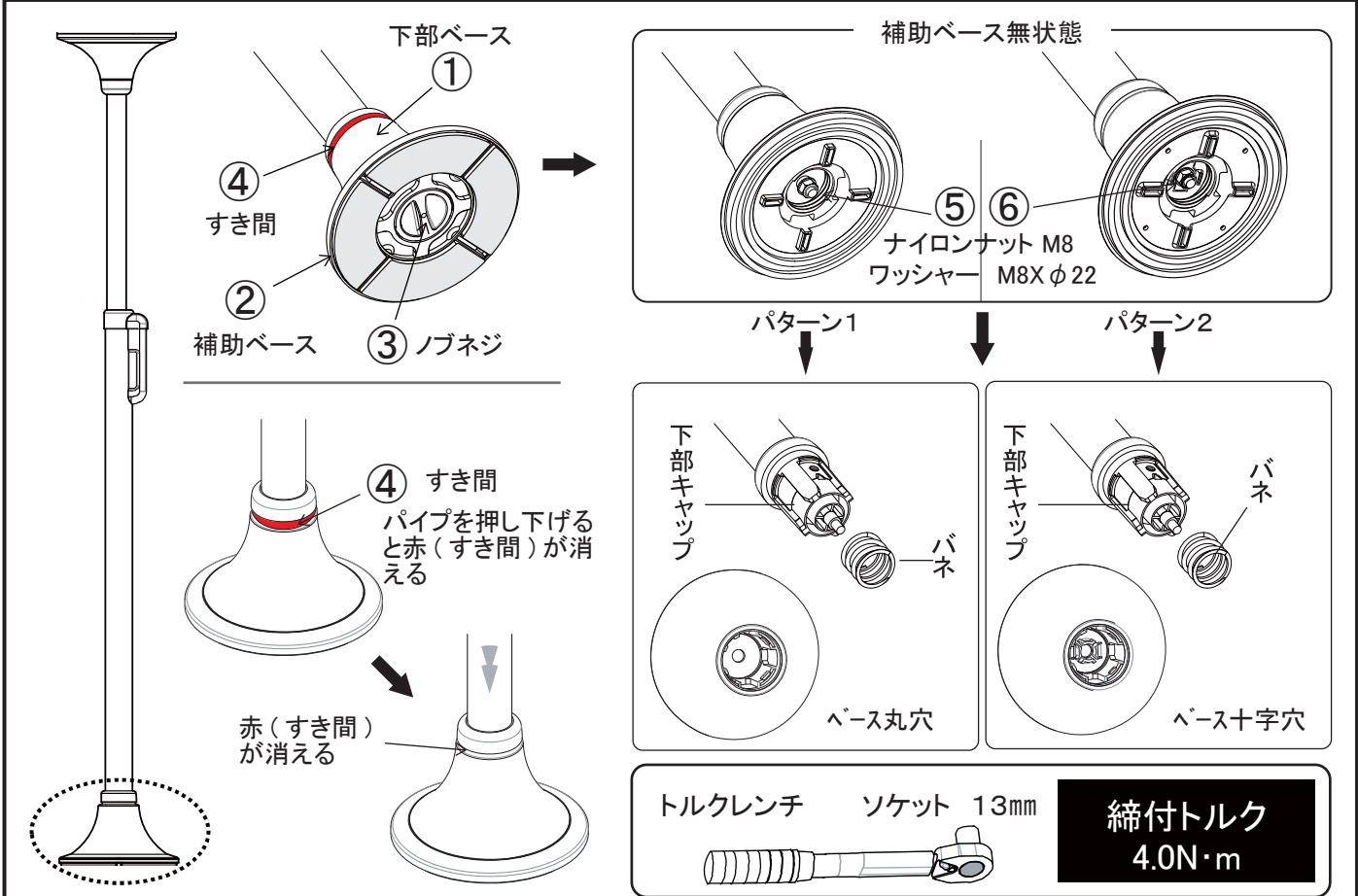


点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
内パイプ作動	作動操作	内パイプの上下作動確認 高さ制限ストッパー確認	スムーズに上がること 急激に下りないこと 2780mm以上上がらないこと
ロックレバー作動 ロックボタン作動	作動操作	ロックレバーの作動確認 ロックボタンの作動確認	90° に開閉できること ロックボタンが締まり、解除できること 5mmレンチを差し込み回すと解除
締付強度	作動操作	ロック状態で内パイプがズレないか確認 ズれる、回る場合の対策 ロック状態で①六角ボルトを③スパナ10mmで固定し、①UナットM6を緩め、その後、トルクレンチで5.0～5.3N・mの範囲で締める。 ※指定トルクでズれる場合は修理依頼	ズれない、回らないこと
外観	目視	全体を目視・触診する 汚れ、埃、塵	変形していないこと 傷・割れ、汚れ等ないこと

下部ベース点検マニュアル

発行日 2016年11月1日

改訂日 2017年8月1日

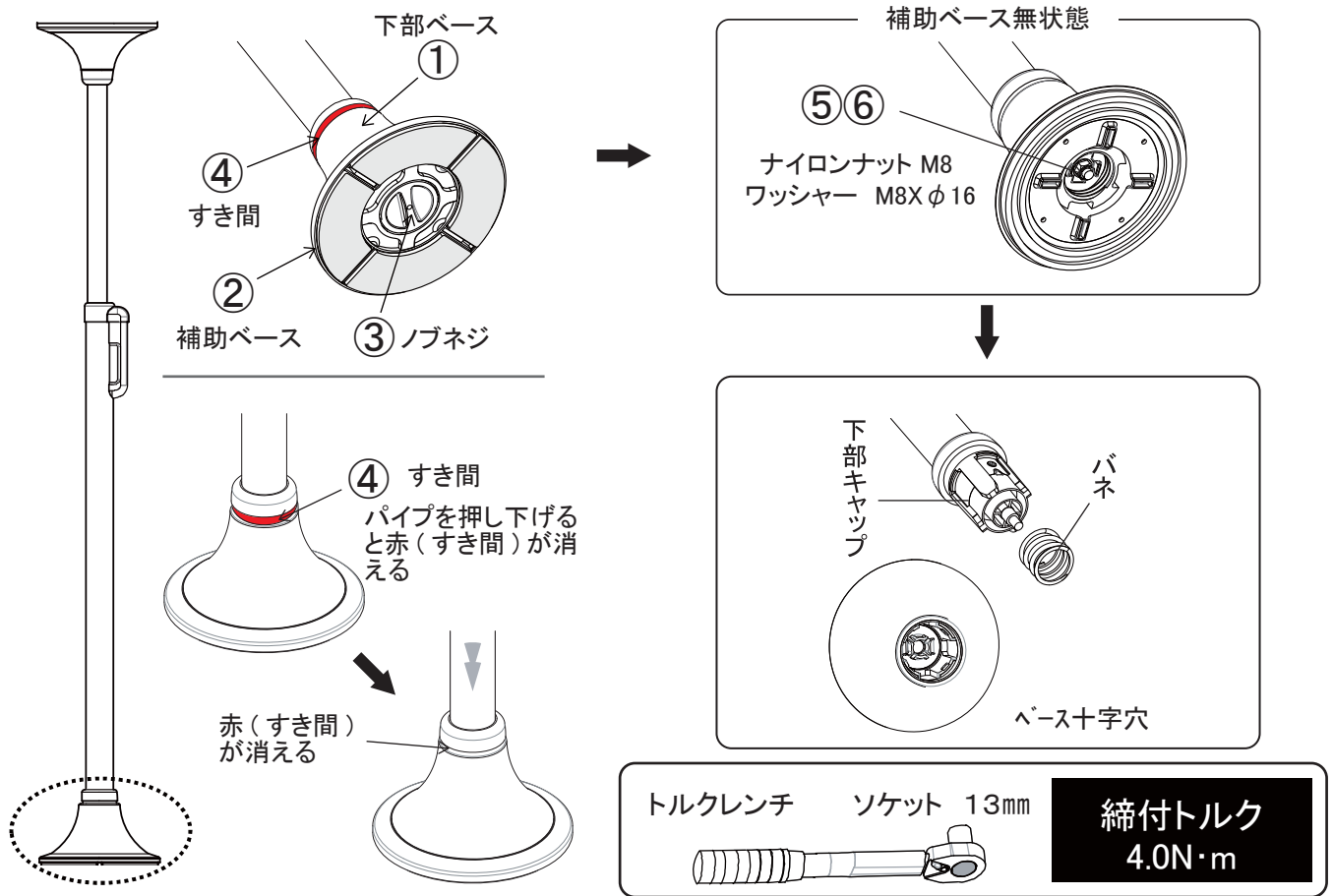


点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
補助ベース滑り止め ※耐水ベース含む	目視	貼り位置の確認 劣化確認 汚れ付着物の除去	大きくズれていないこと 傷、へたりのないこと ※消耗品は早めに交換
①下部ベース	締付確認	M8ナイロンナットの締付確認	固定できていること 注意:遊びがあり多少グラつきます
		締付確認 ③ノブネジを緩め補助ベースを外し、⑤ナイロンナット M8 が 4.0N・m で締まっているかトルクレンチで計測する。	
④すき間・上下作動	計測	すき間計測・上下作動確認	5～5.2mm
		5～5.2mmでない、下げた時赤(すき間)が消えない場合の対策 ⑤のナットを緩め、下部ベースを外し、赤い下部キャップとベースの中を清掃してください。組立後再度、すき間と上下作動を確認して下さい。異常がある場合は修理依頼。	
②補助ベース	触診	回らないことを確認	グラつくが回転しないこと 回転する⇒修理依頼
外観	目視	全体を目視する	変形していないこと 割れ等ないこと

下部ベース点検マニュアル

本体品番
BPE-100

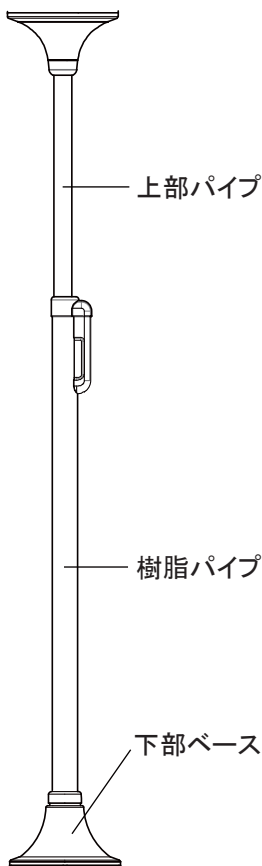
発行日 2016年11月1日
改訂日 2017年8月1日



点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
補助ベース滑り止め ※耐水ベース含む	目視	貼り位置の確認 劣化確認 汚れ付着物の除去	大きくズれていないこと 傷、へたりのないこと ※消耗品は早めに交換
①下部ベース	締付確認	M8ナイロンナットの締付確認	固定できていること 注意:遊びがあり多少グラつきます
		締付確認 ③ノブネジを緩め補助ベースを外し、⑤ナイロンナット M8 が 4.0N・m で締まっているかトルクレンチで計測する。	
④すき間・上下作動	計測	すき間計測・上下作動確認	5~5.2mm
		5~5.2mmでない、下げた時赤(すき間)が消えない場合の対策 ⑤のナットを緩め、下部ベースを外し、赤い下部キャップとベースの中を清掃してください。組立後再度、すき間と上下作動を確認して下さい。異常がある場合は修理依頼。	
②補助ベース	触診	回らないことを確認	グラつくが回転しないこと 回転する⇒修理依頼
外観	目視	全体を目視する	変形していないこと 割れ等ないこと

耐水ベース使用時点検マニュアル

発行日	2016年11月1日
改訂日	2017年8月1日



注意

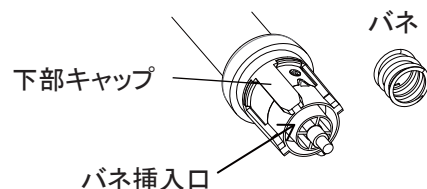
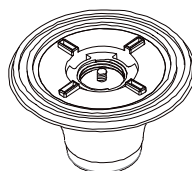
上部パイプは、錆にくいステンレス鋼 (SUS304) を採用していますが、塩害等の環境条件により錆が発生することがあります。錆が発生する可能性がありますのでレンタルバック後は、必ず清拭きをしてください。

錆が発生した場合は、下記方法で取り除くことができます。取り除くことが出来ない場合は、ご連絡ください。

樹脂パイプ、下部ベースの洗浄

下部ベースを水洗いし、逆さまに置き水を抜いてください。その後、水分を拭き取り必ず乾かしてください。

下部キャップとバネを水洗いし、その後水分を拭き取り必ず乾かしてください。



点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
上部パイプ	目視 触診	全体を目視・触診する	変形していないこと 傷・汚れ等ないこと 汚れ、錆がないこと
		汚れ、錆が発生した場合の対策 汚れ：水拭き後、中性洗剤を使用し汚れを落とし、水拭き後、必ず乾いた布で水分を拭き取ってください。 錆：水拭き後、メラミンフォーム等でこすり落とし、十分に水拭き後、必ず乾いた布で水分を拭き取ってください。落ちない場合は、市販のステンレス用クレンザーを使用して落とし、十分に水拭き後、必ず乾いた布で水分を拭き取ってください。	
下部パイプ 下部ベース、キャップ 耐水ベース	目視 触診	全体を目視・触診する	変形していないこと 傷・割れ、汚れ等ないこと
		水に掛かった場合の対策(取り外し方は6ページ) 下部パイプは、布に適量に薄めた中性洗剤を浸し汚れを拭き取った後、水拭きし、必ず乾いた布で水分を拭き取ってください。 下部キャップ、ベースは上記参照、耐水ベースは水洗い後、必ず乾いた布で水分を拭き取り乾かしてください。	